



保育随想

★ 願い！

人は昔の事は冷静に分析もできる。そして、喜びに浸れたり悔いが残ったりしながら他人事のように笑って過ごせる様に作られて居ることも不思議です。今、生きている現実には、その割に鈍感で現実が受け止められないで、ある種の現実から逃避しながら時間のみが過ぎてしまう現実もあります。何とかなる！時間が経てば状況は変わる！世の中も変わる！と生きる方法も手立ても見付からないままに過ごすのです。生きることは、選択と整理の繰り返しかと思えます。精一杯に考えを出して、誰もが生きて来ました。後から笑って話せる、思い出として受け止められる様に成るのですが、大事なところは、後からではなく、今、将来に悔いを残さない生き方をしたいのです。人間は時々自分の生き方や今の自分に立ち返ることに出会います。今日も幼稚園に、絶対的に生きる価値観を抱いておられる三人の方がお出でに成りました。私もあのようによく在りたいと思うのですが、残念ながら共感できずにお別れをしました。仕事と言われる時間とそうでない時間と区別がなく生活している人がおります。しかも、その生き方が苦しくもなく、楽しさも十分に得て暮らして居るのです。それは、あなたの天職です！と言われたそうです。生きる達人かも知れませんね。過去にどのような栄光があっても、今が充実して居なければ、開花した花も萎んでしまいます。私たちが実感できる時間は、この瞬間しかないのです。だから、どんなに老いても自分を鼓舞し、今、この瞬間を充実させる意思をもって生きて行かなければ、過去もこれから迎える未来にも続かないのです。一人では生きられない私達ですから、今までもそうであったように周りの人の支えが有った毎日の生活です。家族もそうです。共に生きる職場の人達から、ご縁のある人たち総てが必要なのです。そういう人たちの中で生きられる生活から、幸せも喜びも、そして生きがいも生れて来て呉れていることも実感します。人間は毎日毎日、寿司や高級肉を食べる日が続くと、いくら贅沢なご馳走でも、慣れてしまえば感激も満足も感じない、ただの食べ物と思うようになります。また砂漠に数日もさまよって、のどが乾き切った時に与えられた水は、たとえ生温かく濁って居たとしても、それは今までに体験した最高に美味しい水に成る例えが有ります。改めて、今、自分が置かれている所に立ち止まって考えることは、幾らかでも楽になる為にも必要な時間か思うのです。人間は目の前の事が全てに成りますが、いろいろな体験や状況に置かれることは、一生懸命に身を守り周囲を守る考えが浮かんで来るものです。それも周囲の力を借りて道が開けるものだと思いますので、一生懸命に生きている人に相談し、力を借りることで同じところに留まらずに済みます。

若い頃から、世の中で頼みごとをされる人は偉い人！と言う価値観を抱いてきました。振り返りましても、お願いごとの多い人生でありました。頼みごとの繰り返しの歩みでありました。周囲には立派な方が多くおられます。周囲の方々のお力で、きっと願いは叶います！頼まれた方は人生を掛けて力に成ってくれます。